

今回のテーマ「福岡県の外国人技能実習生受入企業支援」について

福岡県から令和2年度12月補正予算の概要が公表されました。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/r2-2020.html#12gatsuhosei>

外国人技能実習生を受け入れる企業を支援

入国時に14日間の待機が求められる技能実習生の

宿泊費等を負担する受入企業を支援（2,500人分）

3億7,689万9千円

※事業の詳細が分かりましたら続報でお知らせ致します。

2020年10月6日 西日本新聞 朝刊

外国人受け入れ企業を支援 実習生待機費を補助 県、コロナ禍受け検討

県は5日、外国人技能実習生の受け入れを巡り、新型コロナウイルスによる検査強化が必要となる入国後14日間の待機費用の補助を検討すると明らかにした。技能実習生が農業などの人手不足分野を支えている実

態があり、受け入れ企業が負担する経費を支援することで来日しやすい環境を整えたい考えだ。県議会決算特別委員会で自民党県議団の松尾統章氏の質疑に答えた。県によると、県内の外国人技能実習生は昨年10月時点で約1万3600人。主に農業や製造業で働いているが、コロナの影響で来日できずに収穫予定の野菜を廃棄するなどの支障も出ているという。政府は1日から、ビジネス関係者のほか、技能実習生や留学生などの入国を全ての国・地域に緩和。ただ、入国後14日間は、公共交通の不使用や宿泊施設などでの待機を求めている。技能実習生の受け入れ企業にとっては待機費用の負担は重く、北海道は1泊当たり1万円を上限に最大14

万円を補助する制度を設けた。松尾氏は「受け入れ企業は人材育成で国際貢献し、地域経済も支えている。支援は意義がある」と指摘。県の担当者は「北海道の例も参考に対応を検討する」と答弁した。



＜外国人技能実習生の働く様子＞

（黒石規之）